

関西圏国家戦略特別区域会議(第10回)
～ 大阪府提出資料 ～

2016年8月31日

大阪府

豊中市における都市公園内の保育所設置特例の活用について

- 大阪府では、都市部を中心に待機児童は増加傾向(平成28年4月時点で待機児童数1,434人。前年度比69人増。)。既存ストックの活用も念頭に更なる保育の受け皿整備の促進が必要。
- 豊中市の待機児童数(平成27年4月時点)は253人(大阪府内で最多)。平成28年4月現在217人(前年度比36人減)。
- 豊中市子育て・子育て支援行動計画では、平成30年度当初に待機児童を解消するため、保育の受け皿を約1,400人分増やす目標を掲げ、その実現のために、市有地の活用、国有地、民有地でのマッチング事業、新規事業者の参入促進など多様な手法により保育所等の整備を実施。
- 保育所等の整備を実施するうえでの課題：住宅都市であり待機児童が多い地域に保育所等に適した用地の確保が困難

→ 都市公園内の保育所設置特例の活用により、豊中市内の市立羽鷹池公園・市立ふれあい緑地に保育所を設置し、増加する保育需要へ対応(トータル約156人分の定員)。

→ さらに交流の場としての取り組みをとおり、地域における子育て環境の充実や地域コミュニティの活性化へ寄与するとともに都市公園の魅力向上につながるなどの相乗効果が期待できる。

<豊中市 市立羽鷹池公園>

所在地：市立羽鷹池公園内 実施主体：社会福祉法人あけぼの会
 占用面積：約360㎡ 整備施設：認可保育所
 定員：76人(予定)(0~5歳児)
 開設日：平成29年10月1日(予定)
 ※駅に近く利便性が高い。公園利用者が子育て相談やおむつ替えなどが可能な赤ちゃんの駅としての有効利用も想定。

【適用区域】



【イメージパース】



<豊中市 市立ふれあい緑地>

所在地：市立ふれあい緑地内 実施主体：株式会社セリオ
 占用面積：約500㎡ 整備施設：認可保育所
 定員：80人(予定)(0~5歳児)
 開設日：平成29年10月1日(予定)
 ※公園利用者が子育て相談やおむつ替えなどが可能な赤ちゃんの駅としての有効利用も想定。

【適用区域】



【イメージパース】



待機児童解消対策の検討促進について

「第9回関西圏区域会議(H28.5.10)」において、大阪府知事から提案した内容
“特区のルールは特区で決める”ことを基本に下記の項目を検討例として提示

【提案1】 特区内では、保育所設置基準を自治体の判断と責任で決定

例) 多様な人材を配置基準に位置付け、面積基準の緩和

【提案2】 特区限定版の保育士をサポートする人材を、配置基準に位置付け

【提案3】 保育にかかる情報公開、ガバナンス改革

大阪府の取組み状況

●基準緩和

- ✓ 提案内容に賛同する市町村と意見交換の場(市町村WG)を設け、2回開催。保育の量の拡大、質の確保を実現する基準緩和の内容を検討している。
- ✓ 今後、期待される効果の分析を進める。

●新たな保育人材

- ✓ 「大阪府子ども施策審議会」に「新たな保育人材のあり方検討部会」を設置し、2回開催。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kosodatehien/shingikai/arikatabukai2.html>

- ✓ チーム保育を推進するための多様な人材の役割、必要なスキルや検定・育成方法等の意見聴取。
- ✓ 10月中の提言案とりまとめを目指す。

●情報公開等

- ✓ 市町村WGに加え、団体等からの意見も聞きながら枠組みを検討している。

早期に、特区制度としての検討の俎上に